

当山小学校分離新設校にかかる 地権者説明会

日時：令和8年9月18日（金）

午後6時30分～8時

場所：当山小学校さくらホール

■会次第

- I. 職員紹介
- II. 市長あいさつ
- III. 教育長あいさつ
- IV. 当山小学校分離新設校建設事業に関する説明
- V. 質疑応答

I .

職員紹介

Ⅱ.

市長あいさつ

Ⅲ.

教育長あいさつ

IV.

当山小学校分離新設校 建設事業に関する説明

■説明内容

1. 当山小学校分離新設校建設に係るこれまでの経緯について
2. 道路整備事業に係るこれまでの経緯について
3. 当山小学校の今後の児童数等の推移について
4. 決定及び対応について

1. 当山小学校分離新設校建設に係る これまでの経緯について

■当山小学校分離新設校建設事業の経緯について

昭和51年度 開校(343人、12学級)

平成22年度 当山小学校の学級数が32学級で過大規模校となる。

平成28年度 新設校の設置が市の方針として決定

平成29年度 推計調査実施

↓

候補地の選定

設置場所の選定(ゴルフ場が候補地となる。)

令和2年度 分離新設校建設位置がゴルフ場の中央部となる。

//

市長部局へ分離新設校の候補地として取得の申出を提出
(教育委員会 → 市長)

■当山小学校分離新設校建設事業の経緯について

令和4年度 地主組合からゴルフ場内で分離新設校の建設及び2路線の道路整備を進めてほしいとの要請を受ける。

// ゴルフ場事業者から分離新設校の早期進展を要望する要請を受ける。

令和5年度 地主組合及びゴルフ場事業者からの要請を受け、ゴルフ場中央での学校建設及び2路線の道路整備を進める方針を決定

// 基本設計着手

令和6年度 事業への同意に関する地権者への意向調査を実施
(約9割が同意)

令和7年度 同意を得られない地権者に対する個別説明を実施

令和8年度 推計調査実施

2. 道路整備事業に係る これまでの経緯について

■当山小学校分離新設校基本計画案に基づく道路整備事業の経緯について

令和4年度 地主組合及びゴルフ事業者より学校建設と道路整備の要請。

令和5年度 当山小学校分離新設校建設に伴う道路整備の方針決定。

令和6年度 当山小学校分離新設校基本計画案に基づき沖縄県へ道路整備事業に係る予算を要望。

// 道路整備事業に係る地権者への説明会を開催し、道路整備の意向調査を実施。

→学校建設及び道路整備の同意が得られない為、事業化できず。

令和7年度 学校建設及び道路整備の同意が得られるよう交渉継続。

→年度末までに同意が得られず、事業実施を見送り。

3. 当山小学校の今後の児童数等の 推移について

■当山小学校の今後の児童数等の推移について

学校規模区分

分 類		小規模	適正規模	大規模		過大規模	
				I 型	II 型	I 型	II 型
1校あたりの学級数		11 学級以下	12～24 学級	25～30 学級		31 学級以上	
				普通学級数が 25 学級未満	普通学級数が 25 学級以上	普通学級数が 25 学級未満	普通学級数が 25 学級以上
児童 生徒数 の目安	小学校	400 人未満	400～800 人	～800 人	801～1,000 人	～800 人	1,001 人以上
	中学校	420 人未満	420～840 人	～840 人	841～1,050 人	～840 人	1,051 人以上

※児童生徒数の目安は少人数学級編制における場合の人数を示します

■当山小学校の今後の児童数等の推移について

《過大規模校の課題》

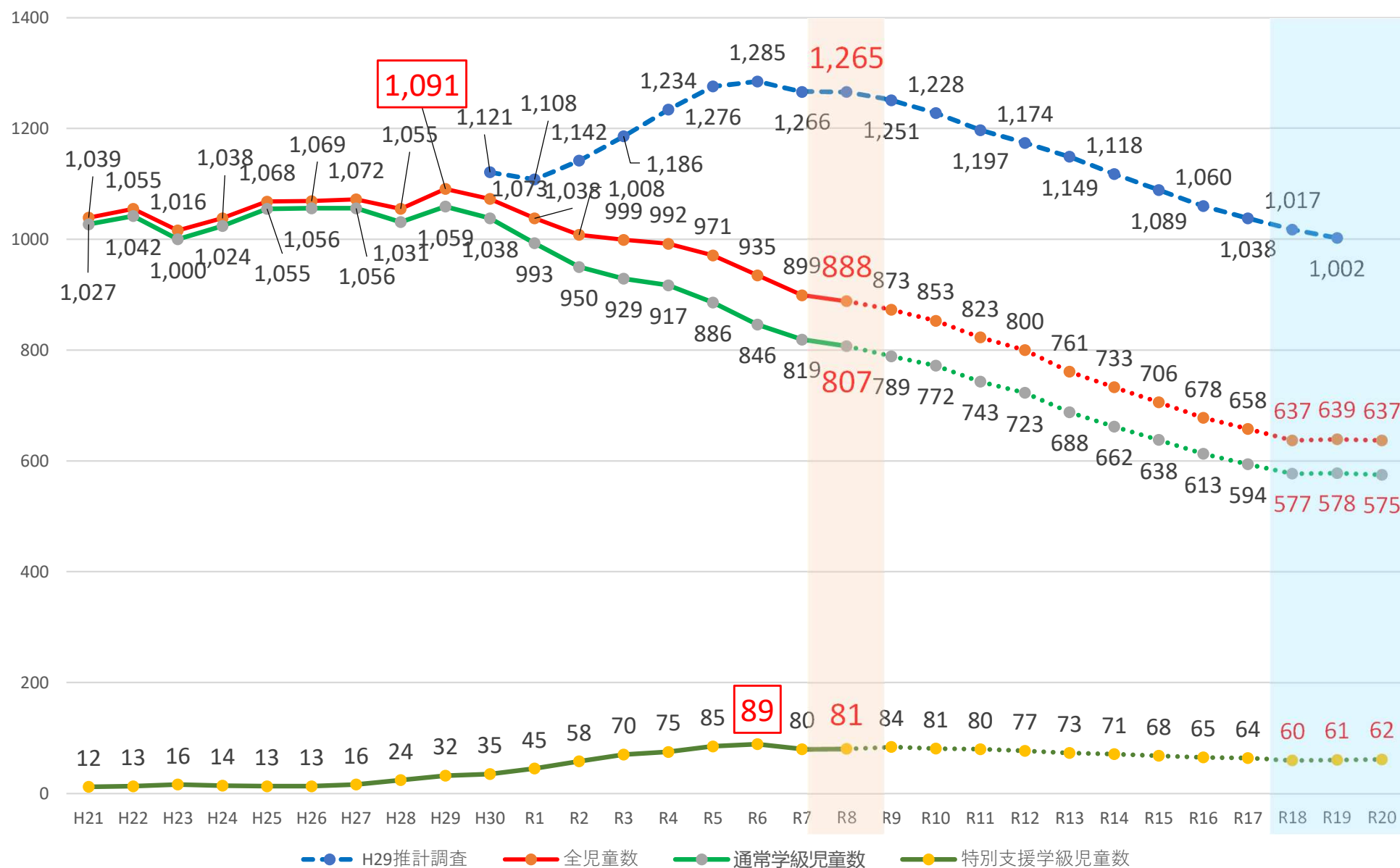
- ・学校行事等において係や役割分担のない児童が生じ、一人一人が活躍する場や機会が少なくなりやすい
- ・児童一人一人の個性や行動を把握し、きめ細やかな指導を行うことが困難な場合がある
- ・特別教室や体育館、プール等の利用に当たり、割当てが難しい場合がある

《小規模校の課題》

- ・学校行事において規模縮小や役割の偏りが生じやすい
- ・グループ学習において、多様な考えや価値観に触れる機会が少なく、意見のぶつかり合いや多角的な議論が起きにくい
- ・大人数の中で競い合う刺激が少なく、大きな目標に向かうモチベーションが湧きにくい

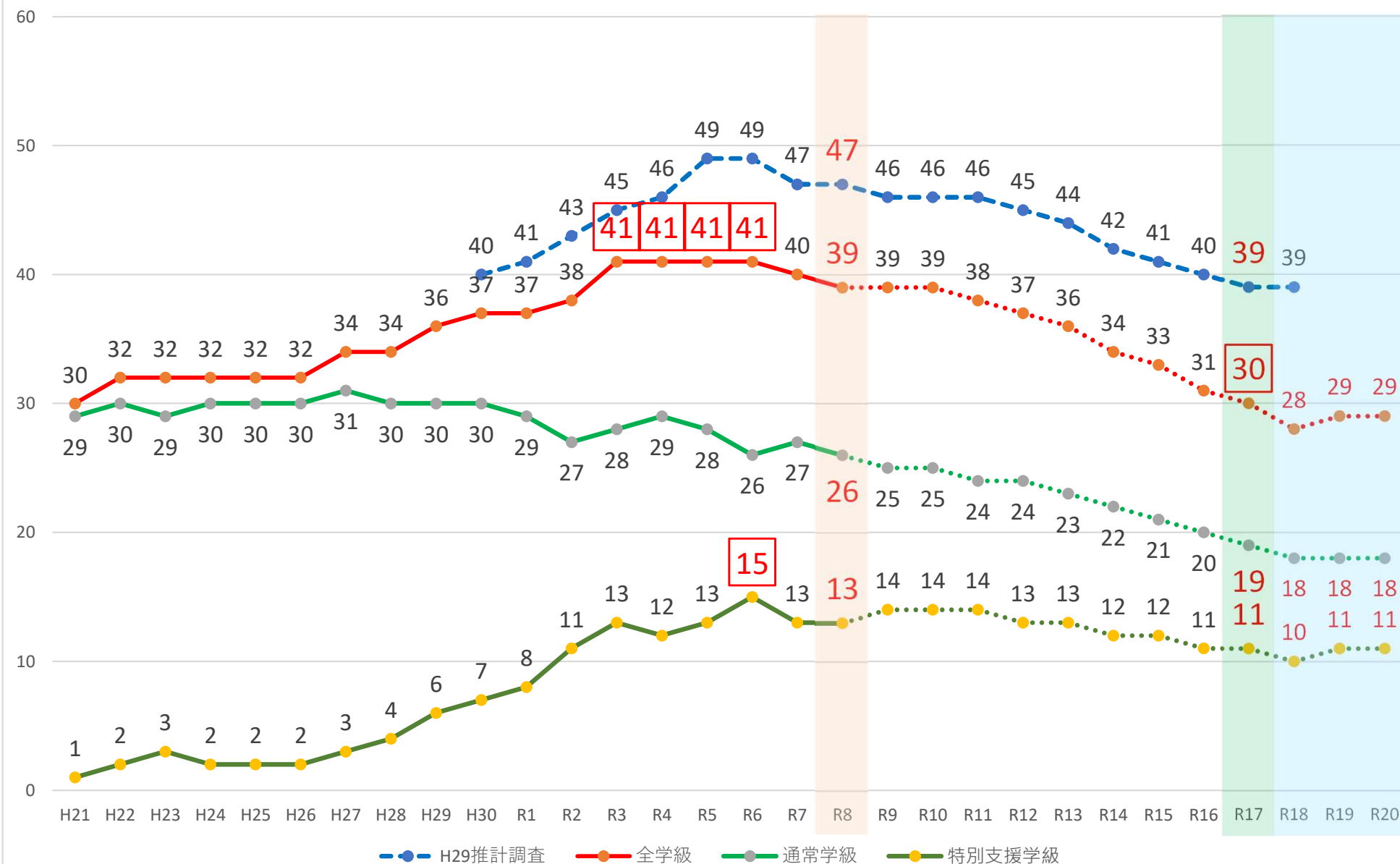
■当山小学校の今後の児童数の推移について

当山小学校の実児童数及び推計予測児童数



■当山小学校の今後の学級数の推移について

当山小学校の実学級数及び推計予測学級数



4. 決定及び対応について

■決定及び対応について

出生率の低下 → 児童数の減少（社会情勢の変化）

全地権者の同意
が得られない

+

推計調査での児童数の減少
による過大規模解消見込み



決 定：新設校建設を断念



対 応：既存校の有効活用

V.

質疑応答